

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、下記検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 何卒、ご高承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

- 実施日 : 平成22年 4月 7日 (水) ご依頼分より
- 新規実施項目 : HPV-DNA (ハイリスク)
- 受託要項 :

項目コード	項目名	検体	採取容器	保存	実施料 判断料	所要 日数	検査 方法	報告 形態	備考
742	HPV-DNA (ハイリスク)	子宮頸 部擦過 細胞	サーベックス ブラシ + SurePath バイアル	冷蔵	360点 (D023-6) 微生物核酸同 定・定量検査	6~8 日	PCR・ハイ ブリダイゼ ーション法	(-) (+) 判定保留	検体の採取方法につきましては、下記をご参照ください。 本検査はコンタミネーションのリスクが高いため、検体採取にあたっては十分ご注意ください。 検出可能な HPV 型につきましては下記をご覧ください。

◆ HPV-DNA (ハイリスク) 検出対象 HPV 型一覧 (型判別はできません)

16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68

(保険適用上のご注意)

別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、細胞診によりベセスタ分類が ASC-US と判定された患者に対して行った場合に限り算定できます。

HPV 核酸同定検査に関する施設基準 :

- (1) 産婦人科の経験を5年以上有している医師が配置されていること
- (2) 当該保険医療機関が産婦人科を標榜しており、当該診療科において常勤の医師が配置されていること

(其他のご注意)

本検査で (-) となっても必ずしもハイリスク型 HPV-DNA の存在を否定するものではありません。以下の検体では、偽陰性となる可能性がありますので、注意してください。

- (1) 血液が大量に混入している検体
- (2) 子宮頸管部細胞検体で局所の分泌物が多量に混入した場合
- (3) PCR 反応を抑制する物質が含まれる検体
- (4) Advantage-S Bioadhesive Contraceptive Gel を含む検体

◆ 検体採取方法

- ① 子宮頸管部にサーベックスブラシの中心を挿入し、時計回りに5回転させます
- ② ブラシの先端を蓋ではさんで引き落とします
- ③ 依頼書とともにご提出ください

